

「内湾における環境修復の方向性と新手法」

※ 本シンポジウムは CPD プログラムとして認定されています

貧酸素水塊の発生による深刻な漁業被害を抑制するための有効な環境修復のあり方については、負荷削減だけでなく干潟・浅場の大規模修復の必要性が論議されている。本シンポジウムでは、内湾環境修復の方向性やその技術的課題について三河湾を例として議論する。

コンピナー

- 鈴木輝明 (愛知県水産試験場 場長)
- 中田喜三郎 (東海大学海洋学部 教授)
- 中村由行 (独立行政法人港湾空港技術研究所 研究主監)

開会 (12:30)

内湾環境修復の方向性 (座長: 中村由行, 13:00-14:30)

三河湾における貧酸素化に係わる干潟・浅場生態系の機能
中田喜三郎 (東海大学海洋学部)

三河湾をケーススタディーとした貧酸素水塊抑制方策の検討
望月貴文 (国土交通省国土技術政策総合研究所)

「きれいな海から豊かな海へ」内湾複合生態系モデルから見えてきたもの
相馬明郎 (みずほ情報総研株式会社)

干潟・浅場造成 (座長: 中田喜三郎, 14:45-17:15)

干潟・浅場造成材料としてのダム堆積砂の有効性の検討
石田基雄 (愛知県水産試験場)

ダムにおける堆積砂対策の現状と課題
田島 健 (国土交通省中部地方整備局矢作ダム管理所)

浚渫等発生土砂の修復利用
塩田昌弘 (国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所)

リセプターモードモデルを利用した造成適地選定手法
市川哲也 (株式会社サイエンスアンドテクノロジー)

底生生物群集から見た造成効果を左右する浅場造成地盤高の決定方法
今尾和正 (株式会社日本海洋生物研究所)

浚渫窪地の埋め戻し (座長: 塩田昌弘, 9:00-10:30)

全国の浚渫窪地の現状と三河湾における埋め戻し修復
中村由行 (独立行政法人港湾空港技術研究所)

浚渫窪地における流れの従来型シミュレーション手法の限界と新手法
大見智亮 (株式会社中電シーティーアイ)

浚渫窪地の埋め戻しに伴うマクロベントス群集の予測手法と修復効果の経済評価
橋口晴穂 (株式会社日本海洋生物研究所)

新しい環境修復研究 (座長: 石田基雄, 10:45-12:15)

三河湾沿岸域におけるデッドゾーンの現状
向井良吉 (愛知県水産試験場)

デッドゾーンの環境修復手法に関する技術開発
(調整中)

マイクロサテライトマーカーを利用した伊勢・三河湾におけるアマモ場修復の一考察
吉田司 (株式会社シャトー海洋調査)

総合討論 (座長: 鈴木輝明, 12:15-13:00)

開催日 10月17日(金)
18日(土)

開催時間

17日 12:30-17:15 (受付 12:00-12:30)
17:30-19:00 (懇談会)

18日 9:00-13:00 (受付 8:30-9:00)

会場

蒲郡市民会館 東ホール
愛知県蒲郡市栄町 1185 番地

会費

- | | |
|---------------|-----------|
| 【シンポジウム】 | 【懇談会】 |
| ・ 会員: 1,000 円 | ・ 3,500 円 |
| ・ 一般: 1,500 円 | |
| ・ 学生: 無料 | |

会場案内図



18日

主催 日本水産工学会
The Japanese Society of Fisheries Engineering

共催: 蒲郡市 後援: 国土交通省中部地方整備局, 愛知県, 愛知県漁業協同組合連合会, 愛知県漁港漁場協会
[お問い合わせ・申し込み先]

愛知県水産試験場 漁場環境研究部 部長 石田基雄 (Tel: 0533-68-5196 Fax: 0533-67-2664)